

感染予防対策として傍聴席の間隔をあけています。傍聴席にお入りいただけない方は、3階ロビーでモニターをとおして傍聴していただくことになりますので、ご理解ください。

また、傍聴席内は一方通行とさせていただいております。矢印に沿ってご通行くださいますようお願いいたします。

質問順序

6月6日（火）午前9時から

1 番	溝 部	真紀子	議員
4 番	小 城	世 督	議員
2 番	齋 藤	文 夫	議員
1 3 番	奥 村	容 子	議員
5 番	伴	吉 晴	議員

6月7日（水）午前9時から

6 番	大 森	恒太朗	議員
1 1 番	濱	眞 理 子	議員
1 0 番	宮 崎	和 彦	議員
1 2 番	木 澤	正 男	議員

溝部真紀子 議員

1. 通学児童への見守りビーコンの導入について

- （1）斑鳩町では防犯、生活安全の向上のため、防犯カメラや防犯灯の設置、登下校時の見守りや地域における啓発活動を行っていますが、更なる取り組みとして見守りビーコンの導入についてお伺いします。

2. 支援の必要な児童生徒への支援体制について

- （1）令和4年4月に文部科学省から出された特別支援学級の運用通知により、斑鳩町でも体制が変わりましたがその後、現在の状況について。

(2) サポーター制度の導入について。

(3) 現場の声について。

3. 給食費の無償化について

(1) 給食費の無償化の今後の見通しについて。

(2) 斑鳩町での現在の給食の内容や負担額について。

(3) 子育て世帯や世の中が注目している無償化の取り組みを先駆けてするべきと考えますが、斑鳩町の考えは。

小城世督 議員

1. コロナ禍で止まっているホテルの建設について

(1) ホテル建設についての進捗はどのような状況であるのか。

(2) 今後の予定を町としてどのようなやり取りをしているのか。

2. 観光客誘致について

(1) 世界遺産登録30周年の法隆寺との連携について。

(2) 今後の観光客誘致に向けた取り組みについて。

(3) 町民に対しての施策について。

3. 小中学校における食育について

(1) コロナ禍での学校給食の現状。

(2) 今後のランチルームの使用について。

(3) 斑鳩町が考える食育のありかたについて。

4. 自転車のヘルメット購入における助成について

(1) 自転車ヘルメット購入に対して現状の補助等について。

(2) 自転車通学の学生に対しての現状。

(3) 今後、考えられることについて。

齋藤文夫 議員

1. 子ども食堂への支援について

(1) 斑鳩町子ども食堂開催場所 1年間通じての公共施設確保、公共施設使用料の免除について。

(2) 子ども食堂の運営に対する斑鳩町の考えについて。

2. 通学時の安全対策について

- (1) 通学登下校中の事故の推移について。
- (2) 通学路の危険箇所の対応状況や安全対策完了見込みについて。
- (3) 通学路の安全対策について、保護者、学校支援ボランティア、付近住民などから要望に対する対応について。
- (4) 学校支援ボランティアの現状、学校支援ボランティアを含め犯罪から未然に防ぐ対策について。

3. マンホールトイレの設置について

- (1) 災害で断水や停電の時、避難所のトイレ対策について。
- (2) 避難所、公共施設、集会所などへのマンホールトイレの設置とマンホールトイレテナントの備蓄について。

奥村容子 議員

1. コロナ禍や、以後の学校の取り組みについて

- (1) コロナウイルス感染症流行の最中、児童生徒への芸術、文化などの体験教育の機会が持ちにくかったと思われますが、今後の取り組みとしてどのようにしていられるのか、お伺いします。
- (2) G I G A スクール構想に基づき整備された1人1台端末の活用についてお伺いします。

2. 自転車ヘルメット着用推進について

- (1) 改正道路交通法の施行により、令和5年4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となりました。自転車乗車用ヘルメットの着用推進を図るため、ヘルメット購入費用の一部を補助してはいかがでしょうか。お伺いします。

伴 吉晴 議員

1. ごみの分別についての成果について

- (1) 以前にも一般質問させていただきましたが、ごみの分別による資源化について、環境問題に寄与しているのは理解できるが、コスト面では再資源化することによる負担についてどのように

なっているのか伺う。

- (2) ごみの分別による成果を一定の期間ごとに住民に報告するべきだと思うが、町の見解を伺う。

2. 空き家問題について

- (1) 斑鳩町が把握している空き家数の推移はどのような状況になっているのか伺う。
- (2) 空き家のうち、改修が可能な家、もしくは解体しなければ近隣の環境被害等が発生する家などをどれぐらい認識されているのか伺う。
- (3) 町はどのように空き家問題に取り組んでいくのか伺う。

大森 恒太郎 議員

1. 法隆寺門前の県道について

- (1) 法隆寺門前の県道において、県と町がバリアフリー計画の協議をされていると思うが、その進捗状況について。

濱 真理子 議員

1. チャイルドシート購入補助について

- (1) 町内の 6 歳未満児の人数と世帯数について。対象児が複数いる世帯数はどれだけか。
- (2) 新生児から 6 歳未満児までに必要な機種変更等について。
- (3) 使用可能期間について。
- (4) 他世帯への譲渡について。

2. 高齢者の補聴器購入費助成の拡充について

- (1) 現在までの実績について。
- (2) 1 台当たりの購入価格について。
- (3) 助成を受けた方の使用状況について。

3. 町内で活動されているボランティアの方々への支援について

- (1) 町内でボランティア活動をされている団体や個人はどれほど

か。

- (2) 町の支援等の取り組みについて。
- (3) 活動人数の動向について。
- (4) 今後の取り組みについて。

4. 重度心身障がい者の移動支援制度の充実について

- (1) 車いす用リフト付き車両（運転者つき）の利用状況について。
- (2) 「障害認定者」以外の利用について。
- (3) 高齢者優待利用券との融合性について。

5. ナポくんメールの活用を

- (1) 奈良県警から発信される「ナポくんメール」を住民の安全に生かす取り組みに追加されたい。

宮崎 和彦 議員

1. 下水道の接続について

- (1) 私道に入っている下水のマンホールについて。
- (2) 住宅が建てられているが、道路所有者と別だが、確認申請は取得できるのか。
- (3) 私道の課税は、かけられているのですか。
- (4) 所有者の存在しない道路は。

2. 斑鳩町立斑鳩東小学校の西側の道路について

- (1) 通学路であるのに道路幅が狭いのは、何か理由があるのか。

3. 災害対策について

- (1) 梅雨入りが発表になり、さらに台風シーズンとなりますが、富雄川、三代川の改修について、三代川は町道もかかわるので、連携はどのように進んでいるのか。
- (2) 災害時の対策は。水害、地震など地元業者と連携は。
- (3) 今まで、町内業者に災害時対応で重機など申告通達があったが、なぜ今はしないのか。

4. コミュニティバス王寺駅乗り入れについて

- (1) 王寺駅に乗り入れている費用は、利用人数は（年間）。
- (2) なぜ法隆寺駅があり、路線バスが走っているのに、税金を使ってまで走らす理由は。

5. 入札と税について

- (1) 落札業者の落札金額が同額の場合。
- (2) 去年の落札業者は。
- (3) 一般競争入札の参加業者の入札率は。
- (4) 斑鳩町に法人の町民税として入る条件は。
- (5) 他の自治体を見てみますと、条件付入札を行い、税が自治体に入るようにしていますが、なぜ斑鳩町はそうしないのか理由をお聞かせ願えますか。
- (6) 町内業者でも職種によって取り扱いが違うように思えますが。

木澤 正男 議員

1. 自転車用ヘルメット購入費助成制度について

- (1) 自転車乗車時のヘルメット着用の必要性に対する町の認識について。
- (2) 町民の命と健康を守るため、自転車用ヘルメット購入費助成制度を創設し、町として自転車乗車時のヘルメット着用を促進すべきだと考えるが町の見解は。

2. 少人数学級編制の推進について

- (1) 少人数学級編制推進に対する国の動向と町の考え方について。
- (2) 現在の学級編制の考え方と特別支援学級の児童・生徒の人数を加えたクラスの人数とこの間の傾向について。
- (3) 保護者からの指摘もあり、特別支援学級の児童・生徒も含めた学級編制（小学校1，2年生は30人、小学校3年生から中学校3年生は35人）に改めるべきだと考えるが町の見解は。

3. 後期高齢者医療高額療養費の支給申請について

- (1) 制度の対象者数と現在の申請状況について
- (2) 町民から「よくわからない」「知らなかった」「申請しておかないと不利益になるのか」など、町民のなかで混乱の声があ

る。再度、わかりやすい周知をしていただくべきだと考えるが町の見解は。

4. 自衛隊からの個人情報提出依頼への対応について

- (1) 以前から自衛隊奈良地方協力本部より町に対して個人情報提出依頼が来ていると思うが、現在、町はどのような対応をしているのか。
- (2) 少なくとも個人情報の提供を望まない方（本人、保護者含む）については、個人情報の提供を拒否できるような対応を町として検討すべきだと考えるが、町の見解は。